

五十七
一月廿五日九辛
琉球藩へ兵營ヲ建築ス

陸軍省伺

琉球藩へ遣隊設置ノ命發下アリ其地位既ニ定マル
宜シク該藩ノ風土季候用材運輸ノ便否日用物品ノ
如何ヲ講究シテ其地適應ノ築造ヲナサ、ル可ラス
今其景況ノ略ヲ擧ニ首里藩城ハ北緯二十六度十
二分三十七秒ニシテ兵營地ハ此ヲ距ル一里
ニ足ラス寒暖ノ熱度ハ七月頃九十二三度ニ止ト雖
トモ日出ヨリ夜半ニ至ルマテ大約全度ニシテ變セ
ス冬間ハ六十三四度ヲ降ラス又年々八九月ニ颯風
アリ内地ニ比スレハ寒モ烈シク草木稍々繁茂スト
イハトモ建築ニ用フヘキ材ナシ古來一本ノ柱一枚

ノ板モ鹿兒島ニ仰カサレハ得スト云フ故ニ土人ノ
 諺ニ曰ク大凡工事ヲ企テントスルト其ハ木材名集
 ノ為メニ五ヶ年ヲ費スヘシト其木材ニ乏シキ知ル
 ヘキナリ然ルニ該地ニ産スル材料ヲ檢スルニ石炭
 瓦ハ品位中ノ上ニシテ石材ハ其質可ナラサレトモ
 稍々用ノルニ足ル以上述フル所ニ由レハ煉化石造
 ノ至造タル一一目ニシ人之レヲ了解スヘシトイヘ
 トモ尚其一ニヲ陳列セン蓋シ夫營業造ノ費用ヲ算
 スルニ之レヲ木造ニスルトキハ大約金十二万〇三
 百五十圓拾五錢之レヲ煉化石造ニスルトキハ大約
 金拾三万八千〇拾四圓四拾五錢九厘是ニ因テ之ヲ
 見レハ木造ハ稍々冗費ヲ省クニ似タリト雖トモ年
 々颶風ノ恐レアリテ多少ノ損害ナキ能ハス又木材

ニ乏シキカ故ニ修繕毎ニ必ス之レヲ内地ニ仰カサ
 ルヲ得ス煉化石造ハ一時ニ巨額ヲ費スト雖トモ年
 々ノ修繕費ヲ省キ颶風ノ害ヲ防キ炎熱ヲ避クヘシ
 是煉化石造ノ至造トスル所以ナリ又其金額内地ノ
 新築ニ比スレハ殆ント二三倍スルニ似タリト雖ト
 モ決シテ然ラス夜令ハ一大隊營ノ新築ニ於テモ一
 中隊營ノ新築ニ於テモ其費用ノ差ハ甚少ナリトス
 況ンヤ此琉球藩ノ一中隊營ニ於テハ隔絶スル一孤
 島ニアリテ物品需用ノ不便ナルヨリ自然貯蓄スヘ
 キ倉庫ノ數ヲ増加シ病室ニ於テモ重症輕症ヲ兼用
 スルモノニシテ其積リモ稍々大ナリ又官舎ノ如キ
 ハ内地ニ其設ケナシト雖トモ勢ヒ建設セサルヲ得
 ス然ラハ其建物ノ諸部及ヒ海路ノ運送等ヲ推究セ

ハ物價ニ於テモ大ナル差違ナカルヘシ然リ而シテ
兵營病室等ノ圖式ハ我歩兵内務ノ規則ニ由リテ之
ヲ制定シ瘳シク煉化石造トス特リ官舎ニ於テハ每
戸ノ隔壁ノミヲ煉化トス之レ各室小ニシテ風害少
キヲ以テ居住ノ便ヲ斟酌スルモノナリ尚其建築ノ
方法ハ各部ノ仕法按ニ之レヲ詳カラス依テ圖面并
ニ仕法按相添致上申候條至急御評決相成度此段相
伺候也 八年十二月二十八日○圖面ハ別函ニ藏サメ
概計簿ハ本年十一月八日水省公文付録ニ編ス
追テ新築入費概計簿一冊是レ亦一緒ニ差出し
候也

伺之趣ハ先ツ一小隊分遣ノ積リヲ以テ兵營ノ儀ハ
專ラ省略ヲ旨トシ本造ニ取調直シ更ニ可伺出事一
月二十三日

陸軍省ハ照會第五科

琉球藩地ハ兵營建築ノ儀御伺出相成候所右費用ノ
儀ハ御省經費中ヨリ御支出ノ御見込ニ候ヤ一應及
御尋問候間否早々御回答有之度候也一月七日

全省回答全科宛

琉球藩地兵營建築ノ儀伺出ニ付右金額御問合ノ趣
致承知候右ハ本年當省經費豫算中ニハ無之別途御
支給ノ見込ニ有之候此段及御回答候也一月十日

大藏省答議

陸軍省伺琉球藩下ハ兵營建築經費支出ノ儀御下問
ノ趣敬承致密按候所煉化石造ハ該藩風土ニ相應ノ
儀ニ可有之候ハ此方今費途御多端ノ際右等ノ支給
ニ不遑去迎今遣ノ命御發下相成候上ハ駐屯ノ場所

無之ヲハ不都合ニ有之ハク付テハ當今ノ内該藩下
寺院又ハ明邸ノ内造置ノ場所借入右ヲ取繕役營ニ
致置退テ何カノ御評議可相成方ト存候依之別紙返
進此段又上答候也一月十八日

第五科議按大史歴查

別紙陸軍省同琉球藩地へ兵營建築ノ件大藏省各議
ノ趣ハ併テ審按候所該藩ハ六軍管照本鎮名分遣御
發令ハ各歳五月中ノ儀ニ付右兵營建築ノ費途ハ當
年度陸軍省經費中へ見積置可申答ニ有之然ルニ豫
算中見積無之趣ヲ以別途費用ヲ要スルハ不都合ニ
候ハトモ抑ニ該藩内保護ノ為分遣隊ヲ被置候御旨
趣ニ付何レニモ兵營築造ヤサルヲ得スカ併方令費
用多端ノ際十有餘萬ノ金額別途支出ハ差支可申儀

ニ付先ツ一小隊分遣ノ積ヲ以テ兵營ノ儀ハ精々省
略ノ上木造ニ取計候ハ、多分ノ經費ニモ有之間敷
ヤト被存候間右ノ趣ヲ以テ更ニ取調直シ可伺出旨
御指揮相成候方可然ヤ目テ御指令按左ニ相伺候也
一月二十二日

陸軍省へ達

琉球藩地へ兵營建築ノ儀本月廿三日及指令ニ候通水
造ノ積ヲ以可致着手候此旨相達候事

但右經費積早々取調可伺出事 一月廿五日

大藏省へ達

琉球藩地へ兵營建築ノ儀別紙ノ通陸軍省へ相達候條
此旨可相心得事 一月二十五日

第五科議按大文歴查

琉球藩地へ兵營建築ノ儀過頃陸軍省ヨリ伺出候ニ
付先ツ一小隊分遣ノ積ヲ以費用者略水造ニ取調直
シ更ニ可伺出旨御指令相成候所右御指揮ニ基キ建
築方着手ノ儀御達可相成旨御談ニ付則御達按テ草
シ此段相伺候也一月廿五日

二月十四日

大藏省へ達

別紙陸軍省伺琉球藩へ兵營建築費ノ儀朱書ノ通及指
令候條非常豫備金ノ内ヲ以金額渡方可取計此旨相達
候事 陸軍

陸軍省伺

琉球藩へ兵營建築ノ儀昨八年十二月二十八日伺出
候所本年二月二十三日御指令且全月二十五日右経
費積リ早々取調可伺出旨御達ノ趣敬承候即テ別紙
ノ通り水造ニシテ一小隊營新築入費聚計相立候條
至急御決定ノ上金額御下渡相成度此段相伺候也
二月 陸軍

伺之趣聞届合金八万四千三百二十三圓三十六錢一